

ナシ炭疽病の防除対策

農業研究部・果樹グループ

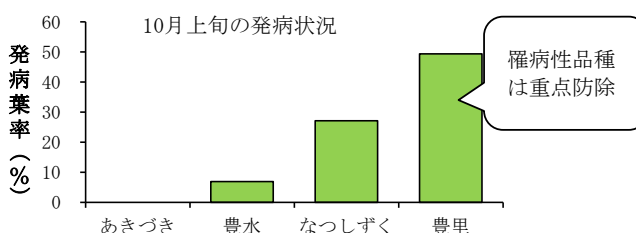
1. 研究の背景

ナシ炭疽病は、近年新たに問題になり始めた病害で、多発すると早期落葉による果実糖度や樹勢の低下を引き起こす。このため県内での発生実態や感染時期、薬剤耐性菌の分布状況を明らかにするとともに、効率的な防除方法が求められている。

2. 研究成果の内容・普及のポイント

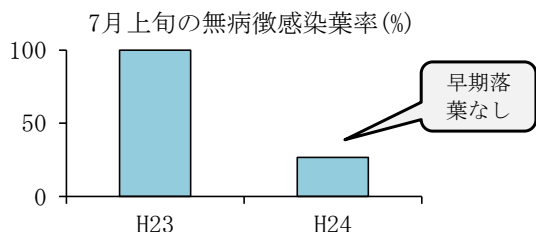
- ・5月～7月の感染初期～盛期に有効薬剤を散布することで早期落葉が減少。
- ・晩生種では9月に2週間間隔で追加防除。
- ・QoI（ストロビルリン）剤の耐性菌分布が明らかになり、代替剤による防除が可能になった。

品種毎の炭疽病感受性

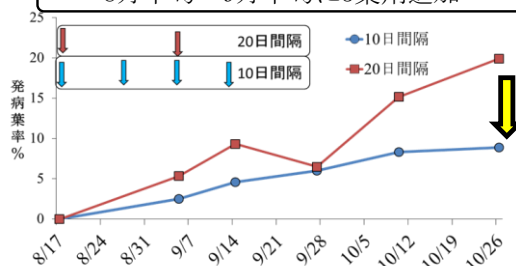


感染初期(5月下旬)からは、有効薬剤使用。晩生種では9月に薬剤を追加散布。

5～6月の感染防止で早期落葉抑制

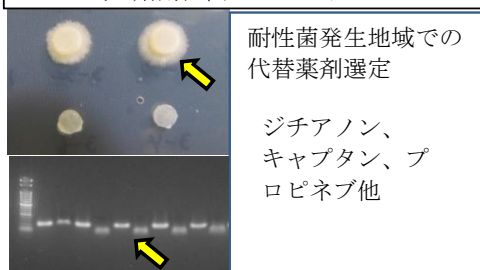


8月下旬～9月下旬に3薬剤追加



主要産地における薬剤耐性菌の確認

QoI剤耐性菌のモニタリング



QoI剤耐性菌の確認圃場

産地	調査圃場数	耐性菌発生圃場数	発生圃場率 (%)
杵築市	3	0	0
玖珠町	2	0	0
九重町	2	0	0
中津市山国町	3	0	0
日出町	3	0	0
由布市庄内町	7	0	0
日田市	52	20	38.5

3. 期待される効果

- ・早期落葉の防止による生産安定。
- ・薬剤耐性菌の蔓延防止。

4. 担当機関連絡先

農業研究部 果樹グループ ナシ・ブドウチーム
 TEL : 0 9 7 8 - 3 7 - 0 1 4 9
 住所 : 宇佐市大字北宇佐 6 5